

# ビジネス・イノベーション・アワード 2010

## *Business Innovation Award*

### 表彰式のご案内

(参加者募集)

平成 22 年 11 月 12 日(金)

**主催** 社団法人日本経営士会

**後援** 日刊工業新聞社

財団法人経済産業調査会

# 「ビジネス・イノベーション・アワード 2010」概要

社団法人日本経営士会は、昭和 26 年に当時の通商産業省と経済安定本部の指導を受けて設立された、経営コンサルタントを会員とする公益法人で、「経営支援」及び「地域の活性化」、並びにこれらを支援する「人材育成」を主な使命として活動しております。

来年、設立 60 周年を迎えるに当たり、新たな公益目的事業として「ビジネス・イノベーション・アワード」を創設し、本会ならではの視点で、活躍する企業等（企業・団体・個人）を表彰し、企業経営と地域社会の活性化に寄与することにしました。

## ＜アワード募集と選考審査の基本的な考え方＞

募集および選考審査に際しての基本的な考え方は、以下の通りです。

- ① 少子高齢化社会の到来とグローバル時代での国際競争激化のもとで、日本は大きなターニングポイントを迎えています。これに伴い、経済産業省が日本経済・産業の進むべき方向を示した「産業構造ビジョン」および「新成長戦略・実現アクション 100」をどう実現するかが問われています。そこで同ビジョンと新成長戦略を先取り、それを実行し産業社会に貢献する企業等を対象にしました。
- ② 本会の今年のテーマ「変化の時代の産業支援」で、そのキーワードとなっている「食」「観光」「環境」で成果を上げている企業等、また本会が設立以来の取り組みテーマにしている「企業と地域社会の活性化」に貢献している企業等を対象にしました。
- ③ 今日的な課題として、多様な働き方に配慮したダイバーシティーマネジメントや、働き甲斐のある仕事と家庭・地域生活の両面において充実した生き方を実現するワークライフバランスを重視した企業等を対象としました。

## ＜アワードの特徴＞

このアワードの特徴は、単に顕著な経営革新や高い業績・活動を評価するだけでなく、経営コンサルタント（経営士）の視点で、「理念・手法・ビジネスモデルの創造」など、成功に至った要因を重視するとともに、過去に「賞」や「社会的な評価」を受けた企業等が引き続き、たゆまぬ革新に挑戦して成果につなげていることなどを、審査の重要な要素としました。

## ＜表彰のカテゴリー＞

基本的な考え方を踏まえ、表彰のカテゴリーを下記のとおりとしました。

「経営・技術革新分野」「女性事業家分野」「地域活性化分野」「環境関連分野」「福祉・介護分野」  
「少子高齢社会／ダイバーシティー分野」

## ＜賞の種類＞

- ◇ 大 賞 (クリスタルトロフィー、表彰状、副賞 10 万円)
- ◇ 優 秀 賞 (クリスタルトロフィー、表彰状、副賞 5 万円)
- ◇ 特 別 賞 (クリスタルトロフィー、表彰状)
- ◇ 努 力 賞 (表彰状)

## 「表彰式日程とプログラム」

- ◆ 日 時 平成22年11月12日（金） 16:00～19:30
- ◆ 会 場 六本木ヒルズ森タワー51階、六本木ヒルズクラブバンケットルーム  
電話：03-6406-6001
- ◆ 参 加 費 10,000円（税・懇親パーティー代含む）  
当日、会場にてお支払いください。
- ◆ 申し込み先 社団法人日本経営士会 ビジネス・イノベーション・アワード事務局  
10月28日までに裏面のFAX用紙にてお申し込みください。

### ◆ プログラム

- 15:30 受 付
- 16:00～ 開 会  
主催者あいさつ  
ゲストあいさつ
- 16:30～ 表彰式  
選考委員長あいさつ  
・大賞、優秀賞、特別賞、努力賞
- 17:30～ 受賞講演
- 18:00～ 懇親パーティー  
・あいさつ  
・アトラクション
- 19:30 閉 会

### <選考委員会>

- ・委員長 野々内 隆（財団法人経済産業調査会理事長、元資源エネルギー庁長官）
- ・委 員 森田 実（政治経済評論家）  
嶋矢志郎（財団法人地球環境財団理事長、  
元日本経済新聞社論説委員/論説副主幹）  
森谷亘暉（産業能率大学名誉教授）  
松島隆太郎（ZENTグループ代表）  
武居久彌（㈱イナベカーリー代表取締役会長、日本経営士会副会長）  
高橋栄一（イング・コンサルタンシー代表、日本経営士会副会長）

